

第36回保険医作品展 & ファミリー展

出品作品から



絵 季(とき) うえだ歯科クリニック 上田 慈子



絵 春の舟川べり 坂東病院 寺田 康人



写 motoman 歯科魚津医院 魚津 博文



絵 怒る富士と剣岳のコラボ 滝 八木山医院 瀧 邦康



写 斜光 大菅歯科医院 大菅 明

絵 風渡る

谷野呉山病院 草野 亮

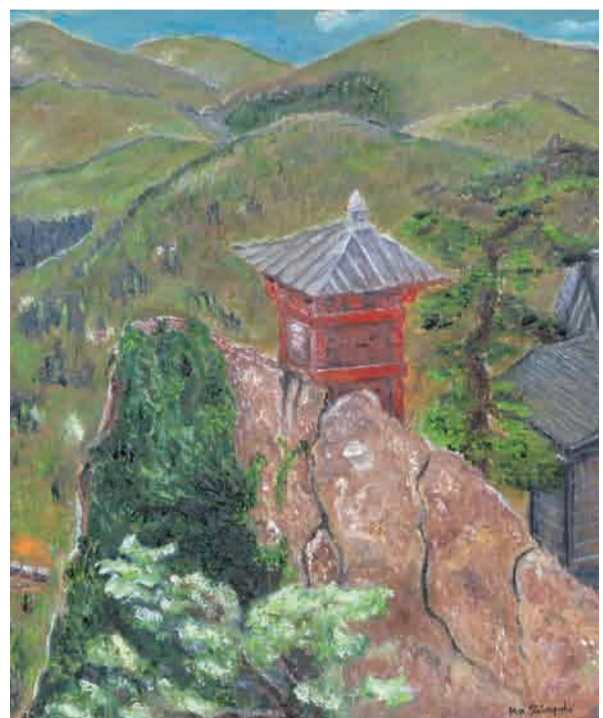


絵 柿架

松田外科医院 松田 嘉之

絵 山寺

竹越内科クリニック 竹越 國夫



自分の過失や失敗ならば諦めもつくが、東日本震災の被災者は誰もがやり場のない怒りを抱えてきた。安全対策を怠った東京電力のせいで真新しい診療所を捨てざるを得なかった手塚徹先生。業者からの引き渡し後まだ使ってもいけない診療所を一瞬で失った大野忠広先生。末尾の文章がみな前向きなのが胸を打つ。この欄を担当するのは今回で最後である。雑文にお付き合いいただいたことに感謝したい。(S・M)

編集後記

「過ぎてしまった事を悔やまず、まだ起きていない事は憂えず」。一面の本田剛彦先生の文章だ。人智を超えた不条理と時

休業保障にご加入の先生へ

～休業されたら協会事務局へご連絡を～

「傷病休業給付金」は、疾病や傷害で6日以上連続して休業された場合に、6日目以降の休業日数について給付されます(第三者の医師に受診された日以降が給付対象期間となります)。

TEL: 076-442-8000